

教 科	科 目 名	単 位 数	学 年	学科またはコース	履 修
農 業	作物	4	3	生物生産科	選択

科目のねらい	2年次『課題研究』で取り組んだプロジェクト学習の継続学習を中心とし、安心・安全な水稻栽培技術の習得、流通・販売に関する知識を身につけ、広く水稻栽培経営について学ぶ。また、農業の多面的機能や、食文化、命の尊さ、感謝の気持ちなど『食育』や『環境問題』についても学習していく。実習を中心とし、自ら考え行動することができる人材の育成を目指す。				
使用教材など	高等学校農業教科用『作物』実教出版				

期	月	時数	学 習 内 容	学習のポイント
一 学 期	4	3 7	【水稻栽培の春作業】 播種・育苗・田植え、本田準備 等 【初期の本田管理】 水の役割と管理の重要性 【安全・安心な米作り】 アイガモ農法、有機栽培、生きもの調査	・年間を通して、水稻栽培の各作業に取組、高品質なコメ作りを実践する。 ・付加価値栽培により収益向上を目指し、経営改善の具体策を模索する。 ・食の安全について深く考える。
	5			
	6			
	7			
二 学 期	9	5 6	【中期～後期の水田管理】 除草管理・肥料管理（追肥） 【良食味米の生産】 食味成分、食味検査、具体的対策 【流通・販売戦略】 マーケティング、関連法規 【農業の多面的機能について】	・栽培技術はもちろん、経営（販売）について学習を深める。 ・夏の過酷な作業を体験し、収穫の喜びと感謝の気持ちに繋げる。 ・生物の多様性と農業の多面的機能から、農業の意義と国の政策（田んぼの生きもの調査）について学習を広げる。
	10			
	11			
	12			
三 学 期	1	1 7	【稲作経営の現状と今後の動向】	・学習のまとめとして、稲作農家の置かれる現状と課題から、これからの稲作農業について考える。 ・食の安全、地域の環境、農業・農村のもつ役割について考える。
	2			
	3			

評価の観点				
観点	a : 関心・意欲・態度	b : 思考・判断・表現	c : 技能	e : 知識・理解
観点の趣旨	作物の生産と経営に関心をもち、関連する知識や技術を身に付けようとする。	作物生産や経営に関する課題を発見し、調査・観察・記録・分析と考察を通して、それらについての考えをまとめ、話し合ったり、発表することができる。	体験的・継続的な生産活動を通して、作業の目的や意義を理解し、適切な作業ができる。 プロジェクトの方法と進め方について理解し、調査や記録を適切に行える。	作物生産や経営に関する実践的な知識や技術を身に付けている。 地域農業に適した作物生産と経営の方法について理解している。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 (ノート、ワークシート等)	行動の観察 (発表等のパフォーマンスの評価)	記述の確認及び分析 (ワークシート)	記述の確認 (ノート、ワークシート等) 定期テスト 小テスト

評価項目・学習にあたって・評価点		
①筆記試験	座学及び実習で得た知識がきちんと身についているか。	60点
②実習、実技試験等	積極的に動くことが出来る。仲間と協力して真面目に取り組める。 作業内容を理解できている。作業技術がしっかりと身についている。	40点
③課題提出	座学のノート、生育調査等観察の記録、プロジェクト学習のまとめ等	